

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 **文化振興奨励事業**

[0484]

部名	教育部	事業開始年度	平成13年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>奨励金を支給することにより、活動を行う個人や団体のさらなる意欲の向上を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。</p> <p>個人 :10,000円以内 団体 :100,000円以内 (10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額) 個人～本市に在住していること(就学以前の者を除く)。 団体～本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割 以上が本市在住の市民により組織されていること(就学以前の者を除く)。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民	人	123,537	122,977	122,568	123,054
対象指標2						
活動指標1	奨励金支給個人数	人	4	6	7	4
活動指標2	奨励金支給団体数	団体	2	1	1	2
成果指標1	入賞個人数	人	4	6	7	4
成果指標2	入賞団体数	団体	2	1	1	2
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	240	160	170	240
正職員人件費 (B)		千円	837	418	415	416
総事業費 (A) + (B)		千円	1,077	578	585	656

費用内訳	
21年度	報償費 170千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	本事業は、各種文化活動において優秀な成績をおさめ、全国大会に出場する個人や団体に対する奨励制度を設けるため、「江別市スポーツ大会出場奨励金支給要綱」にならい平成13年度より制定された、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき運用されている。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

各種芸術文化大会及びコンクールに、江別市（北海道）を代表して出場する個人・団体に対する奨励金の支給が目的であるので、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

活動を行う個人や団体のさらなる意欲の向上を図るものである。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

奨励金を支給した団体のうち、例年3件程度は上位入賞を果たしている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

奨励金の支給によって、活動を行う個人や団体の意欲が向上し、入賞件数の増加につながることが望ましい。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

個人や団体の活動に対する奨励金の支給であるため、受益者負担の発想はなされない。